

大分県教育委員会 (所在地: 大分市府内町3丁目10番1号)

事業名

生涯を通じた障がい者の学び支援事業

事業の趣旨・目的

- ・障がい者の生涯にわたる学びを支援するため、以下の取組みを行う。
- ①教育と福祉等、分野横断的・持続的な関係者の連携体制の確立 (コンソーシアム)
- ②学校教育から社会教育への円滑な接続、保護者への普及啓発 (出前講座等)
- ③「学びの拠点」構築、県内全域での講座等の実施 (モデル事業、青少年の家、大学)
- ④情報の一元化、アクセシビリティの保障 (専用ウェブサイト、リーフレット)

事業実施体制・連携先

実施主体 **大分県地域連携コンソーシアム**

- 大分大学 ○特別支援学校 ○大分県社会福祉協議会 ○大分県障害者社会参加推進センター ○芸術文化 ○スポーツ団体 ○当事者団体 ○企業
- 行政 (市教委、県教委 (社会教育課、特別支援教育課)、県福祉保健部)

事務局 県教育委員会社会教育課 (事業のコーディネーター的役割も担う)

事業内容

I. 関係機関との連携体制の整備・確立

(内容) 関係機関のネットワーク化 (情報や課題を共有し、取組について協議) → 地域連携コンソーシアム (推進協議会) 実施・・・6月、11月、2月
 (構成) 県教委、県障害福祉課、特別支援学校、大分大学、市教委、県社会福祉協議会、市町村自立支援協議会、企業、障がい者支援団体、芸術・スポーツ関係団体

II. 生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究

- 先進地の視察 (宮崎県、東京都等) により得た成果を取組に還元
- 【新】3年間の研究結果についてまとめた**報告書を作成**し、3年間の結果を検証するとともに持続可能な事業のあり方を検討

III. 地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究

- 大分大学における、知的障がい者を対象とした生涯学習講座の実施 (**年10回程度**)
- 社会教育施設 (公民館、図書館、県立青少年の家等) における学習の場や学習プログラム、居場所の提供 (**8施設、計30回程度**)
- 特別支援学校出前講座の実施での生徒・保護者に対する啓発と「卒業後の学び」への誘導 (**7校～10校**)

IV. 障がい者の学びに関する普及・啓発や人材育成に向けた取組

- 【新】**障害平等研修** (DET (=Disability Equality Training) 研修) やモデル事業関係者研修の実施による支援者の資質向上
- 【新】恒常的な活動や交流を行う「**学びの拠点**」の設置…毎週決まった曜日に集まり、利用者同士あるいは支援者と交流・学習する場づくりの支援
- 自宅学習のニーズに応じた**動画教材開発・配信**…基本的な生活スキル、趣味やレクリエーション等幅広いジャンルの学習動画を作成
- 「**県内コンファレンス (実践交流会)**」開催…好事例の共有や研究協議等を行うことで、障がい理解の促進や学びの場の担い手の育成学びの場の充実を目指す
- 情報発信…「**かたろうえ大分**」 (専用ページ) の改修・掲載内容の充実

事業終了後の目指す方向性

「障がい者の生涯学習支援」の継続・発展→**県として事業化する**

- ①地域コンソーシアムの維持 ②特別支援学校出前講座の拡充
- ③ウェブサイト「かたろうえ大分」の継続 ④「学びの拠点」の定着

支援 (アドバイザー派遣、講師紹介等)

各市町村等: 研修・講座を事業化、県立青少年の家: 一般利用として参加受入検討

その他

障がい者の生涯学習に関する専用サイト「かたろうえ大分」に県の取組や各種団体・イベント情報、学習動画を掲載



HPのQRコード



HP掲載の学習動画 (他5本)